

第30回宮城県歯科保健大会 特別講演のご案内

開催日時 平成24年11月17日(土) 15時～16時30分

会 場 宮城県歯科医師会館 5階講堂
(仙台市青葉区国分町 1-5-1)

演 題 「放射線・正しく恐れるには
～福島原発事故と私たち～」

講 師 東北大学名誉教授・東北工業大学名誉教授
織 原 彦之丞 先生

昨年 2011 年 3 月 11 日東日本を襲った未曾有の大震災にともなって起きた福島第一原子力発電所の原発事故は、セシウム-137 だけでも数百万テラベックレルの放射能を環境に放出し、1 年以上経った今も放射性セシウムによる汚染が大きな社会的な影響をもたらし、特に食品の汚染が、風評被害も起こって深刻な問題となっています。チェルノビリの原発事故と比べ、急性の人的被害が報告されていないのは不幸中の幸いとも言えますが、漁業に大きな影響をもたらしている海洋汚染については、これからの取り組みが重要なところであり、本講演のテーマでもある「放射線を正しく恐れ」、健全な食生活を確保することが重要と考えます。「放射線と健康」という点では、4 つの尺度があるとされます。第 1 はこれまでの研究をもとに国際的に決められた被曝 100mSv 以下という尺度、第 2 は被曝は合理的に可能な限り低く平時は～1mSv、非常時は～10mSv という尺度、第 3 はこれらを加味した国の法律、そして第 4 がパニックによる尺度で被曝をゼロに！というような凡そ非科学的な発想やら風評被害を生むようなものです。4 月 1 日に食品に関して、厳しくどうやって測定するのだろうか？と訝る程の基準が出されましたが、上の基準の第 1～第 3 の尺度に合っています。

「放射線・正しく恐れ」と言うことは、国の基準を守りながら農業・漁業と、発育盛りの子供を含めた我々の食育をまもって、宮城県では更に放射能が震災復興の妨げにならないように、みんなで賢くなって、考えることだと思います。11 月 17 日開催の貴「第 30 回歯科保健大会」の講演におきましては、このようなことを皆さんにご理解いただくため、シーベルト、ベックレルに始まり原子核・放射線、核エネルギーと原子力発電所の事故によって環境に放出された放射性物質の実態、環境・食物等に含まれる微量放射線の測定方法、低線量被曝の健康への影響、被曝低減のための除染等について、わかり易くお話したいと思います。

プロフィール

東北大学名誉教授・東北工業大学名誉教授 織原 彦之丞 (おりはら ひこのじょう)

1. 略 歴

昭和39年4月～昭和41年3月	東北大学大学院理学研究科博士課程前期2年の課程
昭和41年4月～昭和44年3月	東北大学大学院理学研究科博士課程後期3年の課程
昭和44年4月～昭和53年2月	東北大学理学部物理学助手
昭和53年3月～昭和59年3月	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 助教授
昭和59年4月～平成15年3月	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター 教授
平成15年4月～平成22年3月	東北工業大学教授

2. 論文・著書

[論文]

- 1) H. Orihara et al., Phys. Rev. Lett. 47, 301(1981)[$^{56}\text{Fe}(p,n)^{56}\text{Co}$ 反応に於けるGT遷移の研究]
- 2) H. Orihara et al., Phys. Rev. Lett. 51, 1328(1983)[$^{16}\text{O}(p,n)^{16}\text{F}$ 反応に於ける中間子移行の研究]
- 3) H. Orihara et al., Phys. Rev. Lett. 48, 469(1982)[$^{24}\text{Mg}(p,n)^{24}\text{Al}$ 反応のストレッチF状態の研究]
- 4) H. Orihara et al., Phys. Rev. Lett. 49, 1318(1982)[$^{76}\text{Ge}(p,n)^{76}\text{Ga}$ 反応によるニュートリノ検出]
- 5) H. Orihara et al., Phys. Rev. Lett. 81, 3607(1998)他, [IASにおける荷電対称性の検証]、他

[著書]

- 1) 数学的思考法 (共著、共立出版)
- 2) 大学生のための教養・基礎物理学 (共著、共立出版)

3. 教育業績

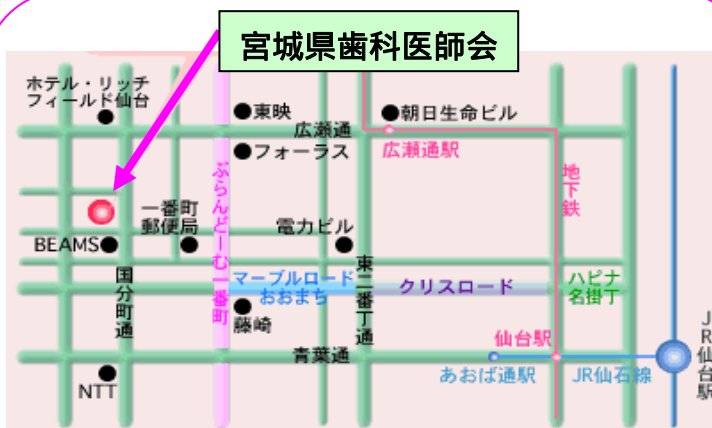
昭和44年4月～昭和53年2月 東北大学理学部において「物理学基礎実験」等を担当
昭和59年4月～平成15年3月 東北大学において、「物理学」の講義を担当
平成15年4月～平成22年3月 東北工業大学において、「物理学」、「物理への旅」の講義を担当

3. 所属学会・専門分野

所属学会：日本物理学会、日本放射線管理学会

専門分野：原子核物理学、放射線計測学、医用物理(PET(陽電子断層撮影装置)による画像診断他)

入場無料



< 問合せ先 (社)宮城県歯科医師会事務局 022-222-5960 >